

昭和二十四年六月一日
大正五年四月六日第三
省特別採承認雜誌第四五三號
昭和三十五年三月二十五日印刷
(每月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 三 十 三 卷 第 十 一 冊

第 三 百 九 十 二 號

昭 和 二 十 五 年 四 月 一 日 發 行

中江藤樹の教學……………文學博士 下程勇吉

アリストテレスに於ける知性の構造(承前)……………文學士 安藤孝行

多値論理學……………文學士 杉原丈夫

京 都 大 學 文 學 部 內 部
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年五百四十圓、前後二期ニ分テテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	有賀鐵太郎
文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學博士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	岡原太郎
文學士	高田三郎
文學士	武内義範
文學博士	田中美知太郎
文學士	長尾雅人
文學士	野田又夫
文學士	松尾義海
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

あるが、その基礎を束論以前である。

Heyting, A.: *Mathematische Grundlagenforschung, Intuitionismus, Beweistheorie*. Berlin, 1935.

黒田成勝: *Aristotle の論理と Brouwer の論理に就いて*。(科学, 第18巻, 第1號) 昭和25年。

註七 様相論理學は次の書に詳し。

Lewis, C. I. & Langford, C. H.: *Symbolic Logic*. New York, 1932.

註八

ライオンズマンは次の書において量子力學の論理學を三値論理學として構成している。しかし彼の三値論理學は(ハッセの圖式よりみて當然のことであるが)分配束でありかつ正相補束でない。従つて彼の論理學は現實の量子力學と一致しない。

Reichenbach, H.: *Philosophic Foundations of Quantum Mechanics*. Berkeley & Los Angeles, 1944.

註九

この圖式は二値のラムセル論理學を説明するためにヴィッケンシュタインが次の書において始めて用いたといふ。
Wittgenstein, L.: *Tractatus Logico-philosophicus*. London, 1922.

前 號 目 次

賞存と所有……………	文學博士	山内 得立
陳那教學の課題……………	文學士	武邑 尙邦
危機神學の生成と その展開(案前)	文學士	樋元 和一
— 近世前期フランス精神史論 —		

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編集事務以外ノ一切)ノ事務ハ弘文堂内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五八番 京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編集ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓御送付下され度候

昭和二十五年三月廿五日印刷
昭和二十五年四月一日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會

京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

小 田 武

發 行 人 久 保 井 理 津 男

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 縣 四 ノ 四

印 刷 人 鈴 鹿 幸 保

京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所 弘 文 堂 印 刷 部

京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所 株 式 弘 文 堂

株 式 會 社

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 縣 四 ノ 四

定 價		冊 數		定 價		郵 税	
一	冊	四十五圓	金三圓	六册(前金)	二百七十圓	金十八圓	
三册(前金)	五百四十圓	金三十六圓					

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

アテネ新書

送名二五圓

現代哲學概說	高坂正顯	一八〇圓
ニヒリズム	高山岩男	二二〇圓
ウエーバーとマルクス	西谷啓治	一八〇圓
カトリシズム	柴田・脇・安藤譯	一三〇圓
サルトルとマルセル	壽岳文章譯 トワフオンテラス 安井源治譯	一〇〇圓 一五〇圓

アテネ文庫

辯證法入門	高山岩男	三〇圓
自然辯證法入門	高原光雄	三〇圓
唯哲學論入門	高山岩男 梅本克巳	各三〇圓 各六圓
スピノザの生涯	ルカス・コレルス	一〇圓
妻への手紙	山元一郎	一圓
エリサベトへの手紙	相原信作	一圓
新ヒューマニズム	野田又次郎 野田又次郎 宮本正清	各一圓 各一圓 各一圓

科學とはなにか

二〇〇圓
送三〇圓

末綱 恕一
藤岡 由夫
下村寅太郎
田宮 博
高木 貞二

(主要内容)
科學の方法
現代科學の基本原理
現代科學の問題と動向
科學と哲學と倫理

社會主義とはなにか

二〇〇圓
送三〇圓

木村 健康
高島 善哉
土屋 清
猪木 正道
千種 義人
西澤 富夫

(主要内容)
資本主義の検討
社會主義思想の歴史的發展
社會主義實現の方法
社會主義經濟の構想と現實
社會主義と自由の問題

哲學とはなにか

二〇〇圓
送三〇圓

務臺 理作
三宅 剛一
高坂 正顯
西谷 啓治
下村寅太郎

(主要内容)
哲學とはなにか
物質とはなにか
生命とはなにか
歴史とはなにか
人間とはなにか
人間は如何に生くべきか